

関次雄町長 11月9日初登庁



10月26日に告示された小平町長選挙は、関次雄氏の無投票当選が決定しました。

関町長は、11月9日午前9時に初登庁し、全職員が庁舎入り口のロビーで盛大な拍手で迎えました。

また、午前9時30分から全職員を集めて就任のあいさつを兼ねた訓示が行われ、「たくさんの町民の声をつなぎ、現場に立って同じ目線で物事を見て考えることを町政運営の指針にしたい」と力強くあいさつされました。



目くばり 気くばり おもいやりでまちづくり

小平町長 関 次 雄

このたび私は、町民の皆様をはじめ多くの方々の温かいご支援とご協力をいただき、

小平町長当選の栄を賜り、町政運営の重責を担わせていただくこととなりました。

私は、平成3年から19年間余りにわたり、町議会議員を務め、町政執行の内容をあらゆる角度から検証する立場にありました。

今度は町政執行の責務を担う志の中、多くの住民と直接触れ合い、対話の中で、町民皆様の生の声を聞き、何を求めているかを身にしみてひしひしと感じるとともに、その責務の重大さを痛感しております。

今後3千7百町民の期待に応えるよう最善の努力をいたしてまいります。心新たに立ち、まちづくり実践の先頭に立って全力を傾ける所存であります。

ご承知のとおり国内経済は依然低迷を続け、雇用拡大の

兆しが見えない状況が続いております。

また、地方自治行政におきましても、地方分権や地方主権とあわせた、行財政運営の積極的な改革が求められております。

しかし、このような厳しい時こそ、「目くばり、気くばり、おもいやり」を念頭におき、直接現場に向き、住民皆様方との対話を通じ、透明性のある町政執行を行うため、町民の英知を結集することが何より大切であると考えます。

今後推進すべく主な事項についてその概略を申し述べさせていただきます。

少子化問題については、子供を持つ親の意見を聞き、適切な施策を行います。教育においては、地場産業と密着したのびのびとした環境の中、学校と地域が連携して子供達を育む体制づくりを進めます。

高齢者問題では、老人クラブ活動を通じ心身ともに健康を

維持できる環境づくりを行います。基幹産業である農林漁業においては、国の政策を掌握しつつ、即効性のある町の施策を講じます。商工業の推進では、町内消費を大前提とし、新たな施策を成し遂げます。

町内会活動にあつては、互助関係の構築や活動の支援対策を行います。役場庁舎内の再構築と職員の資質向上では、来庁される方が利用しやすい課の配置と職員の挨拶を含めた接遇の向上を行い、親しみやすい役場の環境づくりを行います。

町政を担うリーダーとして、小平町に住んでいる町民が生活基盤の確保とともに心のやすらぎが感じられるまちづくりを強く認識し、誠心誠意努力してまいりますので、今後とも町民皆様方の温かいご理解とご支援を心からお願い申し上げます。



前町長 横 磨

退任にあたって

町民の皆様一言お礼を申し上げます。

このたび、十一月八日をもって、任期満了により小平町長の職を退任いたしました。

顧みますと平成十年就任以来三期十二年間、さらに町職員を含め四十五年にわたり、微力ながら「小平町」の発展に精一杯の努力を重ねてまいりました。

この間町民の皆様方の温かいご支援とご協力を賜り、職務を全うすることができましたことを、ここに衷心より厚くお礼申し上げます。

今後は一町民として小平町の発展のため、いささかなりとも尽力したいと存じておりますので、何とぞ変わらぬご交誼を賜りますようお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。